

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名 : 筑後広域公園芸術文化交流施設
- 2 指定管理者 : ちくごJR芸術の郷事業団
- 3 指定期間 : 令和5年4月1日～令和10年3月31日
- 4 施設設置目的 : 筑後地域の芸術文化団体やまちづくり団体等との連携を図りながら、地域の情報発信や発展、文化振興に寄与する。
- 5 管理運営についての点検結果（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
 - (1) 点検方法 : 事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2) 点検結果 : 別添のとおり

1 管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的を踏まえ、地域との連携・協働を図りながら、地域の文化振興に寄与する。 全ての人々が快適に施設を利用できる運営を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元自治体やNPO法人等と連携を図りながら、「芸術文化事業」「交流事業」「体験事業」を3本の柱とする事業を実施している。 地域文化の振興のため、住民参加型のイベントや体験事業を展開し、文化交流施設としてのニーズに応えている。
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> より広域的な集客を図るため、九州新幹線主要駅でのPRやSNSの活用等、効果的な広報に努める。 (目標：利用者数 70,000 人) 利用者のニーズ等を把握し、利便性の高い施設を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> JR九州の筑後船小屋駅周辺の各駅及び博多駅や吉塚駅等の12駅にポスターやチラシ等を設置、また、JR九州博多駅や久留米駅構内のデジタルサイネージ、列車1編成の全広告スペースを使うADトレインを活用しイベントのPRを行っている。 子どもを対象とした体験事業「夏休み子どもアカデミー」「冬休み子どもアカデミー」では、筑後地域の各小学校に直接チラシを配布するなど集客に努めている。 利用者数：63,112人（対前年度 △6.8%、対R1年度 △9.9%） 施設の設置目的に沿って、施設の特性を活かした以下の事業を展開。 事業数：19事業（対前年度 △4事業、対R1年度 △8事業） アンケート等により利用者の声を集約し、職員間で問題の解決と情報共有を行なっている。
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> 利用の促進と収入確保を目指し、経費の節減、経営の効率化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> JR九州のネットワークを活用し、広報を行うことで稼働率向上と収入確保に努めている。 令和5年度は順調に推移し、利用料金収入、事業収入ともに前年度から増加した。 利用料金収入実績：3,148千円（対前年度 +13.1%、対R1年度 △13.0%） 県委託料（指定管理料）：126,756千円（対前年度 +7.5%、対R1年度 +6.2%）
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> 「高い専門性」「豊かな技能」を有し、地域文化の創出に情熱的に取り組む人材を確保する。 安定した経営と財政基盤を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続した事業実施やサービスの質の確保のため、専門知識・技術と現場経験を有する職員を配置している。 担当職員が、美術館や博物館の研修受講等により専門的な知識や技能を習得している。 借入金はなく、健全な財務体質を維持している。
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> 警備や巡回を定期的実施し、利用者の安全確保に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 来館者が安全快適に過ごせるよう、職員及び警備員による巡回や点検を定期的実施し、危険個所の早期発見及びマニュアルに沿った迅速な対応を行っている。

2 点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的を踏まえ、地域と連携したイベントや体験講座の実施など、施設の特性を活かした文化事業を展開している。 「芸術文化事業」「交流事業」「体験事業」を3本の柱に据え、年間で19事業を実施し、利用促進を図っている。 利用者のニーズを把握し、高齢者や障がい者に配慮した対応を行うなど、施設利用者へのサービス向上に努めている。 JR九州のネットワークを活用した広報を展開し、稼働率向上と収入確保に努めている。
---	---